

3. 住居喪失不安定就労者等の特徴

(1) 住居喪失不安定就労者等の性別・年齢別構成

第2次調査の結果(上記2(1)の<1日の利用者数>ベース)についてクロス集計することにより、住居喪失不安定就労者等の性別・年齢別構成比を求めた。

その結果は表7のとおりであり、性別にみると、「全オールナイト利用者」では男性が77.9%であったが、「住居喪失者」(82.2%)、「住居喪失非正規労働者」(90.0%)では、よりその構成比が高いものとなっている。

また、年齢別に、まず35歳前後で分けて構成比をみると、35歳未満の若年層(①～④)が、「全オールナイト利用者」では全体の3/4(76.3%)を占めていたが、「住居喪失者」では約半数(46.4%)であり、「住居喪失非正規労働者」となると約4割(40.2%)となっている。

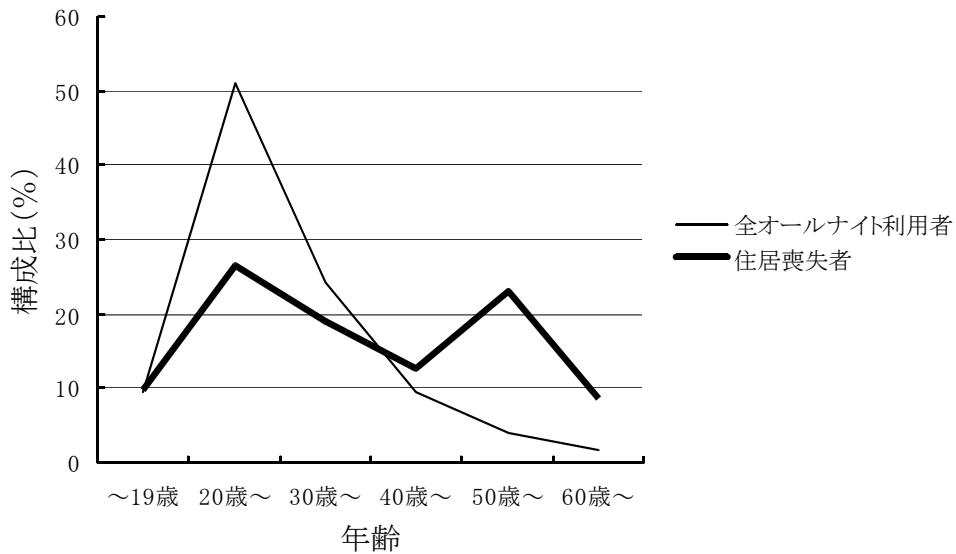
さらに、各年齢層別の分布をみると、「全オールナイト利用者」では、20歳代が約半数(②③51.2%)を占めていたが、「住居喪失者」「住居喪失非正規労働者」のいずれでも、20歳代(②③26.5%・27.3%)と50歳代(⑦23.1%・26.5%)に2つの山がみられる(表7・図2)。

なお、住居喪失者に限らず男性の不安定就労者等全体について年齢構成をみると、本調査と同様の20歳代と50歳代の2つの山がみられる(巻末参考を参照のこと)。

表7 住居喪失不安定就労者等の性別・年齢別構成比 (%)

		全オールナイト 利用者 (Q1・Q2再掲)	住居喪失者	住居喪失 非正規労働者
性別 (Q1)	① 男	77.9	82.6	90.0
	② 女	22.1	17.4	10.0
	計	100.0	100.0	100.0
年齢 (Q2)	① ～19歳	9.5	9.8	0.0
	② 20～24歳	30.0	13.2	13.1
	③ 25～29歳	21.2	13.3	14.2
	④ 30～34歳	15.6	10.0	12.9
	⑤ 35～39歳	8.5	9.0	7.0
	⑥ 40～49歳	9.4	12.8	16.3
	⑦ 50～59歳	4.1	23.1	26.5
	⑧ 60歳～	1.6	8.7	10.0
	計	100.0	100.0	100.0

図2 オールナイト利用者と「住居喪失者」の年齢別分布



(2) 住居喪失不安定就労者等のオールナイト利用の頻度

第2次調査の結果(上記2(1)の<1日の利用者数>ベース)についてクロス集計することにより、住居喪失不安定就労者等のオールナイト利用の頻度の分布を求めた。

その結果は表8のとおりであり、週3～4日程度以上利用する「常連の利用者」(①②)の割合は、「全オールナイト利用者」の場合で37.9%であるが、「住居喪失者」の場合では84.9%、「住居喪失非正規労働者」の場合では96.3%と大部分を占めている^(注8)。

表8 住居喪失不安定就労者等のオールナイト利用の頻度 (%)

		全オールナイト利用者 (Q3再掲)	住居喪失者	住居喪失 非正規労働者
利 用 頻 度 (Q3)	① 週5日以上	17.8	66.6	83.5
	② 週に3～4日程度	20.1		
	③ 週に1～2日程度	15.8	4.2	1.3
	④ 月に1～2回程度	12.1		
	⑤ たまに	26.0	7.5	2.5
	⑥ 今回はじめて	6.4	2.3	0.0
計		100.0	100.0	100.0

(注8)この割合は、「住居喪失者」や「住居喪失非正規労働者」の存在数の大半がネットカフェ等を利用していると解釈してはならないことに留意(もっぱら他の施設や路上を寝泊まりのために利用しネットカフェ等をあまり利用しない「住居喪失者」や「住居喪失非正規労働者」の存在についてはわからないため)。